



資料 3

議題（3）

リハビリテーション従事者向け研修の実施

神奈川県リハビリテーション支援センター
令和7年3月11日

1. 研修目的
2. これまでの研修テーマ
3. 今年度の研修内容
4. 今後の研修テーマ（予定）

1. 研修目的

地域のリハビリテーション関係機関が、相談機関・コーディネーターとして支援を行うことができるよう、また、多職種のリハビリテーション関係機関と協働で支援機関の連携形成などを目的に、リハビリテーション従事者向けの研修を行う。

2. これまでの研修テーマ

項目	R4		R5	
研修 テーマ	地域ケア会議におけるリハビリテーション職の役割と可能性について (鎌倉市)	障害福祉グループホームにおけるリハビリテーションの可能性について (秦野市)	グループホームでの生活支援を長く続けるために (秦野市)	地域生活を持続するための視点と提案 ー多職種連携・相談についてー (逗子市)
内容	・「地域ケア会議における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割と可能性について」 ・「神奈川県リハビリテーション支援センターの役割と可能性について」 ・模擬ケア会議、発表・ディスカッション	・「秦野市内の障害福祉グループホーム連携について」 ・「障害福祉グループホームとリハビリテーション連携について」	・「より良い支援につながるための障害理解について」 ・「長くグループホームでの生活を持続するために」	・「介護予防・生活期領域におけるフレイル対策」 ・「神奈川県リハビリテーション支援センターの利用について」

3. 今年度の研修内容

(1) (逗子市) : ハイブリッド開催

R6		
テーマ	難病の支援と多職種連携について	
日時	令和6年12月13日（金）	令和6年12月20日（金）
研修	パーキンソン病の初期段階について各専門職から	難病の方のコミュニケーション支援についての考え方、進め方
内容	難病に関わる保健所の支援について保健師から講義、運動習慣の重要性と実際の運動教室の対応についてセラピストからの講義	コミュニケーション支援についての関わり方について、ソーシャルワーカー及びセラピストの講義と機器の体験会（現地参加者）
結果	参加者 計：55名 （内訳：会場23名 オンライン32名）	参加者 計：48名 （内訳：会場25名 オンライン23名）
	参加者アンケートによる評価 3.83（4点満点）	参加者アンケートによる評価 3.83（4点満点）

3. 今年度の研修内容

(2) (愛川町) : 対面開催

R6		
テーマ	愛川町・厚木市・清川村の介護を考える	
日時	令和7年1月19日(日)	令和7年2月5日(水)
研修	今さら聞けない自立支援型地域ケア会議について	愛川町・厚木市・清川村の住民の暮らしを支えるために必要なこと～本音で語り、本気で語る多職種連携とチームケア
内容	自立支援型地域ケア会議を開催する上での重要なポイントの講義と、実際に開催している小田原市を例にした具体的な会議運営に関わる報告	現状の各地域を取り巻く状況や課題、多職種連携を実践するための講義と、グループワークを通じて地域の関係づくりを促進
結果	参加者 計：17名	参加者 計：46名
	参加者アンケートによる評価 4.00 (4点満点)	参加者アンケートによる評価 3.95 (4点満点)

4. 今後の研修テーマ（予定）

引き続き、リハに関わる専門職同士の連携促進のため、それぞれの役割についての共有及び意見交換の場を提供する研修を行う。開催地域や内容に関しては、各地域のニーズを考慮し決めていく。

- 「地域包括ケアとリハビリテーション」について、
地域の専門職からのご講演やグループワークを通じて、多職種連携のあり方、地域の課題解決等についての意見交換
- 病院専門職とクリニック・施設等の地域専門職との連携促進のため、
どのようなかかわり方ができるか等の意見交換

以上です。